

社会福祉学原理演習

[演習] 1年・2年 前後期 選択 30時間 2単位

《担当者名》志水 幸 [koh@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

この演習では、社会福祉学原理特論、社会福祉学原理演習 で展開された主題について、相互批判的な議論を通して了解することを目指す。

【学修目標】

社会福祉政策やソーシャルワークに係る諸現象について、原理的視座から再審問することができる。

【学修内容】

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|----|--------------|-------------------------------|-----|
| 1 | 現状認識あるいは対象認識 | 生活問題の諸相 | 志水 |
| 2 | 現状認識あるいは対象認識 | 制度的射程 | 志水 |
| 3 | 現状認識あるいは対象認識 | 社会変動による変化 | 志水 |
| 4 | 現状認識あるいは対象認識 | 現実との乖離・実践力への懷疑 | 志水 |
| 5 | 閉塞系システム | Richmond流 “ for people ” | 志水 |
| 6 | 閉塞系システム | EBP (EBPM) | 志水 |
| 7 | 閉塞系システム | NBP (DT・CBPR) | 志水 |
| 8 | 閉塞系システム | ディレンマ | 志水 |
| 9 | 開放系システム | Addams流 “ with people ” | 志水 |
| 10 | 開放系システム | 専門性 / 専門職性の越境 | 志水 |
| 11 | 開放系システム | 逆説としてのinstitutional residual? | 志水 |
| 12 | 開放系システム | cause / function | 志水 |
| 13 | 再び原理的問い | critical reality? | 志水 |
| 14 | 再び原理的問い | double focusing | 志水 |
| 15 | 全体の総覧 | 議論のまとめ | 志水 |

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

文献・資料の分析・理解30%、 プレゼンテーション30%、 レポート40%により、総合的に評価する。

【教科書】

特に指定しない。必要な資料等について、適宜配布する。

【参考書】

必要に応じて、適宜指示する。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、臨床福祉学における高度な専門性と研究能力を修得するという臨床福祉学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。